

Okayama

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-03-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属: |
| URL | https://doi.org/10.24517/00053522 |

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



33. 岡山県 追補

狩山俊悟 (〒710-0046 倉敷市中央2-6-1 倉敷市立自然史博物館
muskari@city.kurashiki.okayama.jp)

(A) 植物誌

『岡山県野生生物目録』が2003年と2009年に出版されている(岡山県編 2003; 岡山県編 2009)。2009年版は冊子体としての発行部数が少なく、インターネットで閲覧することを基本としている(<http://www.pref.okayama.jp/page/detail-67604.html>)。

岡山県の植物相に関する報文は、年1回発行の『倉敷市立自然史博物館研究報告』、『岡山県自然保護センター研究報告』、『Naturalistae』(岡山理科大学自然植物園発行)、年4回発行の『しぜんしくらしき』(倉敷市立自然史博物館友の会発行)に掲載されることが多い。

最近出版された地域の植物目録としては、『総社市植物目録』(片岡ほか 2005)、『向山の植物』(狩山ほか 2006)、『旧山手村植物目録』(小澤ほか 2007)、『岡山県の樹木図鑑』(狩山 2009)、『岡山市植物目録』(山下ほか 2010)などがある。

(B) 研究機関

岡山県内で植物の分類、地理学的な研究を行っている機関として、岡山大学資源植物科学研究所、同教育学部、岡山理科大学生物地球学部、同自然植物園、岡山県自然保護センター、倉敷市立自然史博物館がある。

アマチュアの研究会としては、倉敷市立自然史博物館友の会の1グループとして2011年に結成された岡山県植物誌研究会がある。当面は植物誌に関する学習会的な活動を行い、共同調査、標本収集、標本検討会などを実施・予定している。

(C) 標本庫

倉敷市立自然史博物館、岡山大学資源植物科学研究所、岡山理科大学生物地球学部、岡山県自然保護センターの4か所に標本庫があり、それぞれ標本の閲覧が可能である。前2施設では標本の貸し出しも行っている。倉敷市立自然史博物館の収蔵標本の一部は国立科学博物館が運用するサイエンスミュージアムネットでデータが公開されている(<http://science-net.kahaku.go.jp/>)。

(D) レッドデータブック

『岡山県版レッドデータブック』が2003年と2010年に出版されている(岡山県編 2003; 岡山県編 2010)。2010年版は冊子体としての発行部数が少なく、インターネットで閲覧することを基本としている(<http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/>

[sizen/reddatabook/](http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/sizen/reddatabook/))。『岡山県のレッドデータ生物』(倉敷市立自然史博物館編 2010)は『岡山県版レッドデータブック2009』の普及版的な役割を担っている。

(E) 植物群落

地域的な報文として、『Naturalistae』に備前市笹尾山(太田ほか 2005)、瀬戸内市前島(財津ほか 2007)の植生がまとめられている。また、『岡山県自然保護センター研究報告』では岡山県内複数地点の湿原の40年間にわたる植生変遷が論じられている(西本 2006; 西本 2007; 西本 2008)。



図. 岡山県版レッドデータブック2009 植物編.